

進化する中勢バイパス

津市長 前葉 泰幸



三重県を南北に結ぶ国道23号の渋滞緩和と地域の発展に向けて建設中の中勢バイパス。鈴鹿市北玉垣町を起点として津市を経由し松阪市小津町までの33.8kmを国が直轄で整備を進めています。

全体事業費約1,955億円を投入する大規模な計画であることから、昭和59年の事業化以来、昨年2月の津市内全通まで35年もの歳月を要しました。現在整備中の鈴鹿市安塚工区の完成の暁には国道23号と一体となって、より高度な機能を発揮することが期待されています。

中勢バイパスは昭和58年に都市計画決定がなされた当初から、平面構造の完成4車線(暫定2車線)道路として計画されていました。市街地における沿道からの出入りを容易にすることで沿線住民の利便性を重視する姿勢が用地買収交渉においても強調されたのです。

ただし、過去に一度だけ、高架構造への変更が検討されたことがあります。平成5年、国は「地域高規格道路」という新しい構想を打ち出し、地方圏の重要な幹線道路の速度サービスレベルの引き上げを図りました。交差点を立体化し沿道からのアクセスを制限する自動車専用の構造にするなど、質の高い道路を整備して物資の流通、人の交流の活発化を促し地域振興につなげようとするものです。

すでに事業が始まっていた中勢バイパスが地域高規格道路の指定を目指すことは難しかったのですが、公共事業の予算が毎年5%程度伸びるなど、より高い水準の道路整備を可能としていた時代背景もあり、ちょうど着工の時期が迫っていた国道165号以南6.7km部分についての高架化が決定しました。沿線は人家が少ない農地で交差する道路も限られており高架構造に変更しても利便性を欠くことはない判断されたからです。

一方、国道165号以北については、すでに平面構造での工事が始まっていた上、用地買収時の平面交差の取り決めも相まって高架化への動きは見られませんでした。

その後は平成9年度をピークとして公共事業の予算は減少に転じたことから中勢バイパスの未整

備区間について高架化の検討がなされることもなくなります。ここに、中勢バイパスは久居以南が高架、久居以北は平面を走る今の姿が確定したのです。

平面構造が大部分を占める津市域の中勢バイパスは、乗り入れが容易な利便性と表裏一体の渋滞問題を避けて通ることはできませんでした。

平成27年2月、国道165号と交わる高茶屋小森ランプ以北6kmの供用が始まると、雲出川を渡り田中川の手前、河芸の国道306号との交差点まで一気につながった中勢バイパスに車が集中。開通直後から著しい渋滞が生じることとなりました。

事業主体である国土交通省三重河川国道事務所に渋滞対策を要望したところ、ライブカメラの設置と渋滞情報の提供、信号サイクルの調整、交通管制エリアの拡大といったソフト対策が講じられましたが、暫定2車線のままではいずれの対策も効果は限定的なものにとどまり、渋滞の緩和にはほど遠い状況でした。

抜本的な解決に向けて、国に車線の増設を強く求めたものの、早期の全線開通を目指して暫定2車線での整備が鈴鹿工区で進んでいる段階で、先に開通した津工区の4車線化に取り掛かるのは難しいとの回答が返ってくるばかりです。

それでも、渋滞への対応を求める利用者の切実な声が上がりが続けることから根気強く要望を続けたところ、翌年、問題の交差点に「交通安全対策事業」が実施されることが決定しました。事業主体として現地の混雑状況を熟知し、渋滞と交通事故との関連性について詳細に分析を加えた三重河川国道事務所は、渋滞が多発する交差点の改良工事のために中勢バイパスの道路建設事業とは別の予算を充当することにしました。

平成28年度から3年間、8.2億円をかけて中勢バイパスの交差点における渋滞と混雑に伴う追突事故の防止策として南河路と久居野村の交差点および半田東・久居相川間、合計3.2kmが4車線に改良されました。今年度からは、津インターの北の長岡宮ノ前交差点付近1.5kmでも工事が始まります。

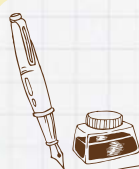
国は中勢バイパスから鈴鹿四日市道路、北勢バイパスを経て川越インターチェンジ付近までの63kmをつなぐことを計画しています。広域的な道路ネットワークの整備による県土の活性化が期待される中で、中勢バイパスが地域経済を支えるのみならず、利用者に安全安心な走行と快適な生活を提供する道路になるため、今後も地域の声を国に届けてまいります。

テレビ版市長コラムでは、前葉市長がこのテーマについて語ります



津市長コラム

検索



市長の
活動日記
から



「海外自治体幹部交流協力セミナー」英国視察団来訪…1月21日

イギリスの地方自治体幹部8人が来日し、津市に4日間滞在。津市ビジネスサポートセンター、リサイクルセンターなどを訪問し、産業振興、環境政策を語り合いました。

「市長活動日記」は津市ホームページでご覧になれます

津市長活動日記

検索